



千曲川/2018

河川生態学術研究会 25周年記念シンポジウム

多摩川/2011



CPD認定
2.7単位

参加
無料
オンライン
参加

 CPD認定プログラム JSCE21-0964 2.7単位

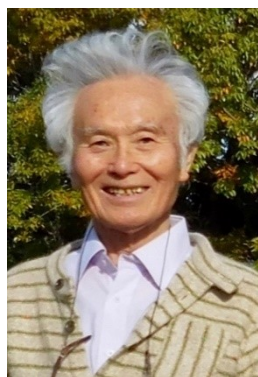
令和3年10月28日(木) 13:30~16:40

主催

河川生態学術研究会
(公財)リバーフロント研究所

お問い合わせ 河川生態学術研究会事務局(公益財団法人リバーフロント研究所内) 担当: 福嶋・内藤
電話: 03-6228-3861(代表)、メール: rfc-event2021@rfc.or.jp

河川生態学術研究会 25周年記念シンポジウム



川那部 浩哉 氏（京都大学名誉教授）

記念講演 河川生態学術研究会発足以来の思い出

－発足時のねらいは達成されたのか？－

【略歴】

1977年：京都大学理学部教授
1991年：京都大学生態学研究センター長（初代）
1996年：京都大学を退官（名誉教授）、滋賀県立琵琶湖博物館館長
2010年：滋賀県立琵琶湖博物館館長を退任（名誉学芸員・名誉館長）
フランス共和国レジオン・ド・ヌール章シュヴァリエを受章

【河川生態学術研究会との関わり】

研究会の立ち上げに尽力され、以降、現在に至るまで研究会の委員として、ご専門の魚類に留まらず、河川生態に関する幅広い見識からご意見をいただき、指導的な立場で研究会を支えてられました。

真摯な議論にこだわりを持たれ、時に厳しいご指摘をいただくことで、研究会は歩みを止めることなく前進することができました。（事務局記載）

河川生態学術研究会のあゆみ

河川生態学術研究会は、「生態学的な観点から河川を理解し、川のあるべき姿を探る」ことを目的に、生態学、河川工学の研究者及び河川行政関係者が共同し、1995年に設立しました。設立以来、全国の河川でプロジェクト研究に精力的に取り組むことで、多くの研究成果を上げるとともに、そこで得られた知見や技術あるいは河川生態系・河川環境の重要性そのものを河川管理の現場に示してきました。

本シンポジウムでは、昨年、2020年で設立25周年を迎えたことを記念し、河川生態の分野をけん引してきた本研究会のこれまでの歩みを歴代関係者の解説で振り返ります。研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な立場の皆さまが河川生態の歴史を学び、先生方からのメッセージを受け取ることで、河川生態のこれからを考える契機となれば幸いです。

プログラム

（敬称略）

13:30	開会挨拶	中村太士（河川生態学術研究委員会委員長）
13:45	記念講演 河川生態学術研究会発足以来の思い出 －発足時のねらいは達成されたのか？－	川那部浩哉（京都大学名誉教授）
14:15	記念討論 ①研究会発足時の出来事を振り返る ②当初の研究グループの研究成果・出来事を振り返る	司会：島谷幸宏（運営委員長） 山岸 哲（第2代委員長） 関 克己（公益財団法人河川財団理事長） 沖野外輝夫（元千曲川研究グループ代表） 代理：平林公男（前千曲川研究グループ代表） 辻本哲郎（元木津川研究グループ代表）
15:15～15:30 休 憩		
15:30	記念討論 ③歴代委員長の立場から四半世紀を振り返る ④国土交通省の立場からの四半世紀の振り返りと今後の展望	司会：島谷幸宏（運営委員長） 小倉紀雄（第3代委員長、元多摩川研究グループ代表） 谷田一三（第4代委員長） 萱場祐一（前土木研究所水環境研究グループ長）
16:15	感謝状贈呈	山田邦博（国土交通事務次官）
16:30	閉会挨拶	井上智夫（国土交通省水管理・国土保全局長）

参加申し込み

一般参加者はオンラインでご参加いただきます。
Zoomウェビナー形式にて開催予定です。
下記URLまたはQRコードにより、お申込み下さい。
<https://forms.gle/ewqevME1XoX197HA6>



詳しくはこちらをご覧ください。
「河川生態学術研究会パンフレット第17版」
http://www.rfc.or.jp/seitai/seitai_pamph_17.pdf

※上記フォームでお申込できない場合は事務局宛にメールでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 河川生態学術研究会事務局（公益財団法人リバーフロント研究所内）担当：福嶋・内藤
電 話：03-6228-3861（代表）、メール：rfc-event2021@rfc.or.jp